

幹事会議事録

安藤(瀧上),
敬称略)

締結する。

事務局

る。

以上//

平成 16 年度 SGST 第 1 回幹事会 議事録

時：平成 16 年 4 月 27 日(火) 13:30~15:00

所：大同工業大学 滝春校舎 A 棟 14 階 会議室

出席者：事口(大同工大), 酒造(大同工大), 清水(信州大), 小塩(名大), 海老澤(名工大), 安藤(瀧上), 尾関(瀧上), 中川(瀧上), 加藤(瀧上), 亀子(瀧上), 田中(JIP), 山田(トピー), 12 名(敬称略)

大), 安藤(瀧上)
12 名(敬称略)

幹事会議事内容>

平成 16 年度担当幹事の確認

会計監査 杉浦(JIP)→田中(JIP) 異動により交代。他の担当幹事は前年度より継続で了承した。

平成 16 年度活動計画

定期研究会は原則として年 6 回(4, 6, 8, 10, 12, 2 月), 各月の第 4 週の火曜日とする。

開催場所は基本的には大同工業大学とする。

する。

各回の研究会担当幹事は 4 月：小塩(名大), 6 月：深田(金沢大), 8 月：清水(信州大), 10 月：忠(豊田高

専), 12 月：海老澤(名工大), 2 月：水澤(大同工大)とする。ただし、都合により変更もあり。

昨年の見学会が好評であったため、本年度も開催を検討する。新規物件は数が少なく困難。候補として第 2 東名、疲労き裂が発生した補修工事の現場があれば、視野に入れる。

福本先生が米国の「建造物安定性研究評議会」のリン・エス・ビードル賞を受賞。本年度に SGST で記念講演を検討する。

までに連絡する

総会の議事内容について

平成 15 年度関連議事の報告内容を確認

①代表挨拶, ②H15 活動報告, ③会計報告, ④H16 役員体制について

平成 16 年度関連議事の報告内容を確認

①平成 16 年度研究委員会の募集について, ②平成 16 年度研究奨励・調査研究の公募について, ③定期研究会について

併せて H14 までの研究委員会 2 件(山田先生, 梶川先生)の報告を行うこととした。

会計報告について

平成 15 年度は記念シンポジウム、見学会があったが、研究委員会が発足しなかったため、収支の上では若干のプラスになった。

研究委員会について

2 件テーマアップ「バリアフリー化に対応した市街地小規模橋梁の構造提案」WG(委員長: 安藤幹事長),

「諸外国の設計基準・解説書等の翻訳」WG(委員長: 清水研究会担当幹事)

H16 年度 4 月付けで活動を開始する。活動期間は 2 年間(H16, H17 年度)

各 WG に事務局から担当(加藤幹事, 亀子幹事)をつけて、当面の間の事務連絡を担当する。

総会で参加者を回覧にて募集する。

予定

研究奨励・調査研究の募集について

1 件テーマアップ「複合構造の研究」(提案者: 吉田(川田))

活動期間は原則 1 年間。延長は有り。特に内規は定めないが、活動報告書の作成と SGST での成果発表、できれば学会で発表(SGST 助成を明記)を目標にする。

奨励・調査研究については、SGST 予算に余裕があるので、引き続き公募する。

旨を次期事務局に報告する。

以上//

以上//

平成 16 年度 SGST 第 2 回幹事会 議事録

日時：平成 16 年 6 月 22 日(火) 13:30~15:00

場所：大同工業大学 滝春校舎 A 棟 14 階 会議室

出席者：事口(大同工大), 水澤(大同工大), 海老澤(名工大), 深田(金沢大), 安藤(瀧上), 尾関(瀧上), 中川(瀧上), 加藤(瀧上), 亀子(瀧上), 岡本(パシフィック C), 田中(JIP), 山田(トピー), 12 名(敬称略)

<幹事会議事内容>

1) 平成 16 年度会費納入状況

- ・例年と同じく、各会員へ活動報告書とともに請求書を送付。
- ・納入状況は順調であるが、特別会員から一般会員へ変更する会員が出ている。現状、特別会員に対する優遇制度等がないためと思われる。対策を考える必要がある。

2) 平成 16 年 WG 活動について

- ・現状では二つの WG ともに参加者が少ない。10 名程度でスタートすることが望ましいので、会員に呼びかける。
- ・特別会員各社代表宛に、事口代表名で依頼を行い、各社から 1 名ずつの参加をお願いする。人数が集まり次第、WG を開催する。

3) SGST 見学会について

昨年度好評であった見学会を今年も行う。

案① 東海地区もしくは滋賀、静岡近辺の現場見学（第二名神等）

案② 金沢大学で行われる橋の再利用コロキウムに参加。

11/12 (金) PM 見学会・懇親会、11/13 研究会

のどちらかとする。

案①の場合、昨年度一日に 3 橋を周りかなり厳しい工程であったため、余裕のある工程とする必要がある。また、見学時にちょうどよい現場があるか、各社検討する。

案②は絶好の機会ではあるが、日帰りはかなり厳しい工程である。宿泊が伴う場合、参加人数が少なくなる可能性があり、予算的に難しいことが予想される。

次回までの検討事項とする

4) 研究奨励・調査研究の募集について

- ・1 件テーマアップ「複合構造の研究」(提案者：吉田(川田))
現在、手続きを行っている。
- ・奨励・調査研究については、SGST 予算に余裕があるので、引き続き公募する。

5) HP について

- ・葛西幹事の個人契約のサーバから SGST 契約のサーバへ HP 移行が完了。
- ・オリジナルドメインを取得 (<http://www.sgstnagoya.com/>)
- ・昨年度の活動報告集を新たに掲載しました

以上//

平成 16 年度 SGST 第 3 回幹事会 議事録

日時：平成 16 年 8 月 24 日(火) 13:00~15:00

場所：大同工業大学 滝春校舎 A 棟 14 階 会議室

出席者：事口(大同工大), 安藤(瀧上), 水澤(大同工大), 深田(金沢大), 海老澤(名工大), 亀子(瀧上), 田中(JIP), 山田(トピー), 8 名(敬称略)

<幹事会議事内容>

1)前回議事録の確認(亀子議事録担当)

- ・特別会員が会費の割にメリットが少ないので、今後の検討事案としたい。

2)特別講演会の実施について

- ・山田先生より、特別講演会の提案があった。

講師 Paul Grundy 先生 (オーストラリア モナーシュ大), Andrzej Novak 先生 (米国 ミシガン大)

内容 橋梁の維持管理と耐荷力、耐久性向上に関する米国とオーストラリアの取り組み

10 月度の研究会へ振り替える事とする。忠研究会担当幹事に確認済み。小塩幹事と交代

る。
日時は 10 月 22 日、場所は名古屋大学、また、講師への謝礼は各 5 万円とする。

・福本名誉代表の記念講演について

12 月度の研究会に振り替える事とする。幹事は海老澤研究会担当幹事。

謝礼は講演会 + 旅費で 7 万程度

3)ワーキングについて

- ・現在の参加希望者はバリアフリー 9 名、翻訳 6 名、今後の進め方等については WG に一任

- ・研究奨励 (複合構造: 吉田委員) は幹事会の了承を得たものとし、奨励金 40 万円を近日中に納金する。

4)見学会について

・深田研究会担当幹事より、橋の再利用コロキウム (11/12, 13) の紹介があり、この見学会とコロキウム 参加をかねたものとする。

・見学会は場所・日程の都合から 1 泊 2 日とする。旅程等は事務局で作成する。交通手段は参加人数により決定するが、会費は概ね 10,000 円程度とする。

5)研究会について

- ・清水研究会担当幹事が所要のため、第 3 回研究会は水澤研究会担当幹事が代行する。

6)次期代表・事務局について

- ・代表の候補は久保先生(名城大)または青木先生(愛工大)。事口代表より打診する。

- ・幹事会社はトピー工業を検討、山田議事録担当から社内調整を行う。

- ・2 月の幹事会までには調整を完了し、4 月の総会で承認を得るものとする。

以上//

平成 16 年度 SGST 第 4 回幹事会 議事録

日時：平成 16 年 10 月 22 日(金) 13:30~14:30

場所：名古屋大学工学部 3 号館 土木会議室 Room364

出席者：事口(大同工大), 安藤(瀧上), 水澤(大同工大), 深田(金沢大), 葛(名古屋大学), 海老澤(名工大), 田中(JIP), 山田(トピー), 中川(瀧上), 加藤(瀧上), 10 名(敬称略)

<幹事会議事内容>

1)前回議事録の確認(山田議事録担当)

2)次回(12 月度)定期研究会の確認

- ・12 月度の定期研究会は、福本名誉代表の記念講演とする。

① 日時：平成 16 年 12 月 14 日(火) 15 時～

② 場所：大同工業大学 滝春校舎 A 棟 14 回 社会交流室

③ 内容：「鋼構造研究とその基準化」

④ 幹事：海老澤研究会担当※福本名誉代表とのコネクションは、安藤幹事長が行う。

- ・謝礼は、講演会+旅費で 7 万円程度

- ・次回 12 月度は懇親会を実施するため、早めに会員の皆さんへアナウンスする。

3)SGST 見学会の確認

- ・以下の通りとする

① 日時：平成 16 年 11 月 12 (金)、13 (土)

② 場所：橋の再利用コロキウムに参加(金沢大学)

③ 参加者：13 名(

④ 会費：1 万 5 千円(見学会参加費:3000 円、懇親会費:5000 円を含む)

⑤ 交通手段：高速バスを利用した旅行パック

- ・詳細スケジュールは、旅行社(名鉄観光)が作成中。参加者に後日配布する。

- ・橋の再利用コロキウムの参加申込書を参加者全員分(15 名)提出した。→後日 2 名キャンセル

- ・やむを得ずキャンセルが発生した場合は、SGST がキャンセル料を負担する。

6)次期代表・事務局について

- ・代表の候補は久保先生(名城大)または青木先生(愛工大)、事口代表より打診する。

- ・幹事会社はトピー工業にはほぼ決定。山田議事録担当が社内調整中。

- ・時期各担当幹事は、現幹事からの推薦によって決定する。

4)その他

AESE2005 「構造実験工学の高度化に関する国際会議」について、葛会員(名古屋大学)より説明があり、SGST に後援(援助)をお願いしたいと申し入れがあった。幹事会にて了承されたが、会議開催時期が来年度(2005/7/19~21)であるため、詳細については時期代表・幹事と調整を行うこととなる。

以上//

平成 16 年度 S G S T 第 5 回幹事会 議事録

日時 : 平成 16 年 12 月 14 日 13:30 ~ 14:30

場所 : 大同工業大学 滝春校舎 A 棟 14 階 会議室

出席者 : 事口 (大同工大), 安藤 (瀧上), 水澤 (大同工大), 清水 (信州大), 海老澤 (名工大)

, 田中 (J I P), 中川 (瀧上), 加藤 (瀧上), 長屋 (トピー山田代理) 計 9 名 敬称略

上),

<幹事会議事内容>

1) 前回議事録の確認 (亀子代理 加藤会計担当)

2) 次回 (2 月度) 定期研究会について

研究会担当幹事 水澤先生より、2 件の講演の提案があった。

・ 講師 川田工業 (株) 橋梁事業部 EM 室主幹 内海 靖

内容 「米国・新タコマ橋工事の概要」

・ 講師 名工大 長谷部先生

内容 退官記念講演

3) 次期代表幹事

代表は、愛工大 青木先生、幹事会社はトピー工業 (株) とし、山田議事録担当が社内調整を行う。 る。

(2 月幹事会までに連絡)

次期研究会担当は、現研究会担当幹事が、決定して連絡 (2 月の次期幹事会までに決定する。)

4) 特別講演会の案内 12/13 に会員の方全員へ連絡済

S G S T 講演会 : 企画 名古屋大学 山田先生

講師 : (株) 横河ブリッジ 技術本部 元研究所所長 岩崎雅紀

内容 「鋼道路構造物の維持管理と最近の話題」

日時 : 平成 16 年 12 月 17 日 (金) 10:30 ~ 12:00

場所 名古屋大学工学部 3 号館 1 階 142 号室 (大学院講義室)

5) 2004 年 S G S T の会計報告

中川事務局担当より会計報告があった。

・ 橋の再利用コロキウムに参加 (金沢大学)

・ 参加者 13 名

・ 交通手段 : 高速バスを利用した旅行パック

徴収金額 : 会費 + 195,000 円

支出金額 : コロキウム参加費 - 104,000 円

見学会旅費 - 185,900 円

移動費 - 16,500 円

懇親会費 - 17,473 円

お茶代 - 6,629 円

- 135,502 円 (* S G S T 予算から負担)

局

上//

6) その他

① C P D プログラムのアンケート結果報告

土木学会より C P D プログラムのアンケート結果（2004年2月～8月）の連絡を受けた。

現状は、C P D プログラム申請しているがアンケートの回答数が少ないので、研究会参加者全員のアンケートをお願いしたいとの話があった。

② A E S E 2005 の後援（援助金）について

名古屋大学 葛会員より

前回、A E S E 2005 「構造実験工学の高度化に関する国際会議」について説明があり、SGST に後援（援助金）をお願いしたいとの申し入れがあった。前回の幹事会で了承されたが、会議開催時期が来年度（2005/7/19～21）であるため、詳細については、次期代表・幹事と調整を行うこととする。

平成 16 年度 SGST 第 6 回幹事会 議事録

日時：平成 17 年 2 月 22 日(火) 13:30~15:00

場所：大同工業大学 滝春校舎 A 棟 14 階 会議室

出席者：事口(大同工大), 水澤(大同工大), 清水(信州大), 葛(名古屋大), 鈴木(愛知工大), 安藤(瀧上), 中川(瀧上), 加藤(瀧上), 長屋(トピー), 古田土(トピー), 森田(トピー), 田中 (J I P) 12 名(敬称略)

<幹事会議事内容>

1) 第 5 回幹事会議事の説明(山田代理 (長屋) 議事録担当)

- ・次期代表幹事, 特別講演会の案内, 橋の再利用コロキウム報告について他。

2) 次期代表、幹事の選出について

- ・代表は、愛知工大 青木先生、幹事会社はトピー工業(株)で決定した。
- ・各担当幹事は新任・留任する幹事の方がいるので次回の総会にて会員の皆さんに報告する。

3) H17 年度 総会・定期研究会について

日時： 平成 17 年 4 月 27 日

場所： 愛知工業大学(本山キャンパスを予定) ⇒ 場所については次期代表から事務局宛てに連絡する。

スケジュール： 15:30~16:30 総会

16:30~17:30 定期研究会(講演会)

18:00~懇親会

講演会担当：忠幹事(豊田高専)

懇親会を予定(場所未定：企画担当幹事：田中、鷺見)

4) H16 年度活動資料集の構成内容確認

例年発行している構成内容で事務局にて作成した原案を検討・確認した。

構成内容

- ① 東海構造研究グループの概要、組織と運営
- ② 平成 16 年度会員名簿
- ③ 定期研究会活動報告(第 1 回~6 回)
- ④ 『橋の再利用コロキウム』ダイジェスト版
- ⑤ 現場見学会の活動報告

今後の予定

- ・3月初旬に最終原稿完了
- ・事務局にて印刷業社の決定(3社程度見積比較し決定) 印刷部数：150 部を予定
- ・4月のSGST総会時に配布する。

5) SGST 内規の確認

現行では定期研究会、共催講演会の講演費などの明確な区分けが規定されていない。運営を次期事務局に引継ぐ為、講演費・旅費・宿泊費について確認した。内規の変更は総会にて会員の皆様に報告する。

以上//